

3期目の 市政の方針 を聞く



市政モニター
&
恵那市長

6政策でまちを元気に

3期目の市政を担うことになった可知義明市長。合併後8年間につくり上げた新市の基盤をどう生かすのか、少子高齢化や厳しくなる財政などの課題にどう取り組むのかなど、3期目の市政運営を、どのように行うのでしょうか。

今回は、市政モニターの安田延江さん(笠置町)が、市長が掲げる六つの政策や課題などについて尋ねました。ここでは、その内容を紹介します。

さらなる基盤強化を目指す

【質問】 8年ぶりの選挙でしたが、前回の選挙のときと比べて、何か違いはありましたか。

●市長 8年前は、合併後初めての選挙でした。どういうまちをつくるか、どうの構想はありましたが、市民にどう伝えていくかに戸惑いました。皆さんと話をしながら聞く方が多かったです。今回は、自分の政策や市の計画もありますので、それを市民の皆さんに訴えることができました。

■安田 個性豊かなまちが合併しましたからね。

●市長 歴史や文化が違うまちが一つになって同じ目標に向かって行かねばならないので、最初は難しかったですね。

【質問】 3期目の挑戦は、前から心に決めてましたか。

●市長 それは考えていませんでした。切っ掛けは、9月議会の一般質問を受けたときに、「自分にはやらなければならぬことがある」という責任を感じたからです。そこで3期目に挑戦し、自分の手でやろうという気持ちで臨みました。

■安田 具体的にはどんなことですか。

●市長 一つには、平成23年7月に発覚した市職員の不適切な事務処理を解決することです。もう一つは、今まで行ってきた市を一つにする取り組みをさらに進め、きちんとした基盤にすることです。平成27年までは、現在の市総合計画や市行財政改革が続くので、10年計画の終期までしっかりやろうと思えました。

で支え合うまちになると思います。

■安田 子育ての話もありましたが、市内には、子ども元気プラザや子育て支援センター、子育て支援のグループがありますね。昔と比べると、すごく充実していると思います。私も孫と一緒に利用することがあります。そこに行くと、子どもは自由に遊べるし、お母さん同士もおしゃべりができ、良い仕組みだなと思います。

●市長 子ども元気プラザを設置する切っ掛けは、名古屋出身のお母さんから「子どもを産み育てることが不安。みんなが集まって相談できたり、お互いに助け合ったりする施設が恵那市にはない」と聞いたからです。今は、子育てのことを親に聞



▲子ども元気プラザで子どもやお母さんたちが交流

那病院の施設は老朽化しており、耐震性も乏しい状態です。平成28年4月に新病院の開院をさせたいと思います。

次に、災害に強い安全なまちにすることです。南海トラフの連動地震の可能性が高いともいわれており、東日本大震災の教訓も生かして、安全なまちを目指します。県内でも先駆けて、市内の小中学校や幼稚園、保育園は全て耐震化が完了しています。耐震化が未整備のコミュニティセンターや振興事務所も整備したいと思います。また木造住宅の無料耐震検査と耐震工事への補助をしますが、それ以外に融資のあっせんなどにも取り組みたいと思います。市民の皆さんには、防災意識を高めていただきたいです。

その他、自らの健康を考える仕組みづくりや一人1スポーツにも取り組みたいと思います。

みんなで支え合えるまちに

【質問】 二つ目の「健やかでみんなを支える、思いやりのまちづくり」についてお願いします。

●市長 市は高齢化率が年々上がっています。昔の言葉に「向こう三軒両隣」がありますが、施設だけでなく、高齢者を地域で支え合う意識を、皆さんが持つことが必要だと思

発覚した市職員の不適切な事務処理を解決することです。もう一つは、今まで行ってきた市を一つにする取り組みをさらに進め、きちんとした基盤にすることです。平成27年までは、現在の市総合計画や市行財政改革が続くので、10年計画の終期までしっかりやろうと思えました。

【質問】 今回、再選されたのは、一期目・二期目の市政が評価されたのだと思いますが、これまでを振り返っていかがですか。

●市長 これまでは、歴史や文化が違うまちを、とにかく一つのまちにまとめたいと取り組んできました。水道料金やごみ料金の統一もそのうちの一つです。8年間で基盤がほぼ充実してきて、安定したまちになったことを評価いただけたのだと思います。

教訓生かし災害に強いまちに

【質問】 六つの「まちづくり」の視点で政策を掲げられていますか、一つずつ簡単に説明いただけますか。まず「健康で安心安全なまちづくり」からお願います。

●市長 一つは、市立恵那病院の再整備です。市民の要望が高い産婦人科や健康管理センターの整備、小児科の充実を図っていくことです。恵

くのではなく、同世代の人に聞いて、つながりを持つ時代のようなです。たまたま中央図書館が移転したので、あの場所になりました。設置して良かったと思っています。

■安田 施設を知らないお母さんにも教えてあげたいです。

●市長 皆さんで活用してもらえと良いと思います。

にぎわい創出で雇用をつくる

【質問】三つ目の「元気で活力あるまちづくり」についてお願いします。

●市長 まちには、にぎわいがほしいと思います。総合計画の中では、

観光交流人口を400万人にするという大きな目標を掲げています。これから人口は減りますが、人がたくさん集まれば、元気が出てきます。そのためには、観光資源やまちの中の在り方をしっかりしないとダメです。恵那の街にもシャッターが閉まった店があります。お客が来るように何か工夫をして、にぎわいを創出することが必要です。観光資源を核にして、人が来るようになればと思います。岩村は良い形が出来つつあると思います。

毎年、中学生と語る会をやっていますが、いつも言われるのが、「当市には働き場所がなく、市外に出て



かちよしあき 可知 義明 恵那市長
平成16年11月初代市長に就任
平成24年11月に3期目当選
大井町在住
76歳
座右の銘は「誠心誠意」



やすだのぶえ 安田 延江 さん
平成24年度市政モニター
笠置町姫栗在住
57歳
主婦

■安田 私も対策をしていたのに畑をイノシシに荒らされました。

●市長 針葉樹ばかりで、木の実がなくて人里へ降りて来てしまうということがありますね。

■安田 笠置町では、営農組合の組合員がかかしを作って、町のあちこちに立っています。

●市長 いろんなかかしがあって面白いですね。人間と間違えることもあります。

■安田 遠くから見に来た人が多くありました。その人たちから「すごく良い所に住んでいますね」と言われました。自然はあっても大変な地域としか思っていなかったのが、改めて周りを見る機会になり、良さを再認識しました。ただ草刈りなど手を掛けないと、良さが守られていか

ないことも感じました。人が訪れるようになったので、おばあさんたちが無人の農作物の販売所を設けたところ、小遣いが得られるようになったようです。おばあさんたちは、目標ができて、生き生きしていました。

大人も子どもも学べるまちに

【質問】四つ目の「歴史や文化を大切にし、生涯にわたって学び続けるまちづくり」についてお願いします。

●市長 平成23年4月に生涯学習都市宣言を行いました。これは、佐藤一斎の「大人も子どもも高齢者も学ぶことが大切だ」という精神を生かして「三学のまち」を目指すものです。心豊かな思いやりのある青少年を育成したいと思っています。物は豊かでも

行ってしまおう」ということです。産業振興や企業誘致などをして、若者が定着できるような企業がたくさんできると思います。

また道路がなければ観光客や企業は来ないので、道路整備が必要です。まだ着工には至らないですが、国道19号のバイパスとして、瑞浪恵那道路ができることになっています。交流人口を増やすためにも道路整備をしっかりしたいと思っています。笠置町も新しく東雲橋ができれば、大きく変わると思います。

農林業の振興も大事です。これからの世界での戦いは、食料とエネルギーだと言われています。当市はもとも農業の地域なので、しっかりと農業をやらなさいといけないと思います。林業も山が荒れると水資源もなくなってしまうので、山は大事にしないといけないと思います。それには、木を育てて切って使うというサイクルが必要です。小中学校や保育園は、木造にするようにしています。

移住と定住施策としては、市外から当市に来て家を建てた方に、平成22年から奨励金を出しています。1世帯25万円と、中学生以下の子ども1人当たり5万円です。また固定資産税を3年間半分にしています。これにより、平成24年8月まででは、134件368人の人が新たに市民

心豊かなでないといけないと思っています。子どもの学力向上を図る教育環境としては、学校と地域、家庭が連携し、子どもたちと一緒に頑張ってほしいような環境づくりをしたいと思っています。

保育園でも、幼稚園と同じように幼児教育をやっていききたいと思っています。幼児教育を重点にして当市独自の「こども園」化を進めたいと思います。

地域の歴史や文化、先人の顕彰、伝統文化の伝承と保存も必要です。笠置町にも剣の舞など素晴らしい伝統芸能がありますね。しっかり伝承しないといけないと思います。12月には、山岡町の子ども歌舞伎がありました。子どもが地域の文化を継承



▲地域の伝統文化を継承 (写真は笠置町の剣の舞)



▲校舎を木造で建築して積極的に木材を使用 (写真は山岡小学校)

になりました。また子どもを産んで育てるためには、まずは結婚からですね。当市には、ことぶき結婚相談所があり、その相談所の活躍で、今までに16組が成婚しています。引き続き奨励したいと思っています。

■安田 奨励金の話は知りませんでした。笠置町では、農業も林業も荒れていく感じがしますので、こういう施策をぜひ、お願いしたいです。

●市長 農業者は高齢化して、平均年齢は70歳だそうです。

■安田 私の周りでは、80歳以上の方が農作業をしています。

●市長 上矢作町に行ったとき、屋根に猿がいました。猿に会ったことを地元の人に話すと、「猿に困っていることを市長が見てくれたら話は早い。ぜひ対策をしてほしい」と頼まれました。

読書には力を入れており、中央図書館は蔵書が20万冊になりました。各コミュニティセンターの図書館も中央図書館と連携して、多くの皆さんが読書を楽しめるようなことを考えていきたいと思っています。特に、最低子どもに1冊は本を買おうと、学校図書に力を入れてきました。さらに充実していきたいと思っています。

■安田 幼児教育は大事だと思います。ところで、保育園は全て指定管理者制度になるのですか。

●市長 市行財政改革大綱の計画では、城ヶ丘、長島、岩村、山岡、明智の五つの保育園を指定管理者制度にしようとしています。

■安田 市の教育の方針は取り入れられますか。

●市長 指定管理は、当然市の意向が入ります。市と指定管理者、保護者の三者の会議があって、それぞれの意向が反映されています。先に指定管理をした城ヶ丘保育園では、最初、保護者の皆さんは、不安のようでした。三者の話合いで、保育園の伝統をつなげるなど、ほとんど混乱はなく引き継ぎました。今では良い評価を得ているようです。

■安田 指定管理者だけの方針に偏らないならば安心です。



▲まちのにぎわいを創出 (写真は岩村町本通り)

計画的に行財政改革を執行

【質問】 五つ目の「健全で持続可能な自立し得る行財政改革基盤の確立したまちづくり」についてお願いします。

●市長 当市は、決して財政が豊かではありません。しっかり計画作りをして、行財政改革をやっていかないといけません。合併して10年たつと、国から来る地方交付税がだんだん減っていきます。10年間は、合併の特例で、6市町村が合併しなかった場合の計算で地方交付税が決めます。その合計が交付されています。合併の特例が終了する平成27年度以降は、だんだん減額され、平成32年度には、平成25年度よりも30億円ほど少なくなります。これを見越して、行財政を改革して、少しでも経費を少なくすることが必要です。

平成18年度から22年度までの5年間にわたる行財政改革では、職員の定数や施設の統廃合、保育園の指定管理などで、累計64億円を削減できました。人件費が大きく、合併時に999人いた職員は、今は23割減って774人です。今後も行財政改革をしながら、健全な財政運営をしなければならぬと思います。

都市間競争で負けないようにするには、職員の能力を研修などで高めなければなりません。これからは、

究機関、国会図書館を誘致するなど方法はあると思います。

■安田 希望が出てきました。

人口減少を止め交流を増やす

【質問】 どの政策も大事だと思えますが、特に恵那市の課題になっていること、進めなければならぬこととは何ですか。

●市長 4点あります。一つは、急激に高齢化が進んでいることです。当市は東濃で一番高齢化率が高くなっています。また少子化で、5年前と比較すると、1年間で生まれる子どもが30人ぐら減っており、今は380人ぐらいます。10年前は

国や県に頼るばかりでなく、自分たちで自立していく考えが必要です。そのために能力を身に付け、発揮してもらうことが必要となります。

■安田 職員が減っても仕事は減らないでしょうから大変ですね。

●市長 これから高齢化や過疎地が増えるので、まだ仕事が増えますが、職員は増やせないで、正直大変だと思えます。でも頑張ってもらわないといけません。

■安田 頼りにしています。

リニアの開通をうまく活用

【質問】 最後に「リニア新幹線の効果を最大限に生かした活力あるまちづくり」についてお願いします。

●市長 リニア中央新幹線の開通は、100年に一度の大きなチャンスだと思っています。中央本線が明治35年に開通してから110年たちますが、この開通はすごいことだと思います。今回も、これ以上の効果があるのではないかと思います。あらゆる角度から見ると、可能性を探って、それを有効にまちづくりにつなげていければと思います。開通すれば、優良企業が進出するだろうし、駅に併設が予定される総合車両所には、1500人ぐらいの雇用が生まれると思います。うまく活用すれば、人口や交流人口の増、新た

500人を超えていたので、随分減りました。人口減少に歯止めを掛けたいと思います。

二つ目は、交流人口400万人を達成したいと思っています。まちの活性化が必要ですので、にぎわいをつくりたいと思います。

三つ目は、災害に強いまちをつくることです。「南海トラフの連動地震が必ず起きる」として考えなければならぬと思います。

四つ目は、リニアを生かしたまちづくり。今から取り組む必要があるということだと思います。

この四つが、課題であり、発展の切っ掛けにしていかなければならぬことだと思えます。

【質問】 実際には課題に対して、どのように取り組んでいくことになりそうですか。

●市長 市総合計画の後期計画が平成23年度から27年度まで、市行財政改革大綱も同じ時期にあります。これを着実に推進していくこと、この結果を検証して、次なる計画につなげていくことをしっかりやる必要があるかと思えます。

平成26年に市制10周年行事

【質問】 平成23年には大正百年、平成24年にはぎふ清流国体という大き



▲リニアには中央本線の開通による繁栄と同じ効果を期待

な雇用、まちの元気にもつながってくると思えます。逆に何もなければ、ただ駅が近くにできるだけで、東京に人が出て行ってストロー現象になってしまふことも考えられます。今から計画を作って、当市の活性化につなげたいと思います。特に今考えているのが、交通アクセスです。渋滞ばかりで時間が掛かっている駅目です。いくつかの道を設けて、駅に行けるようにしておかないと、当市は渋滞をもうだけになってしまいます。例えば、スマートインターチェンジをつくらせて車を流したり、中央自動車道や国道19号の他に道を何本か通したりしないと、交通がまひしてしまう可能性があります。

■安田 リニアの効果があると良い

な行事がありました。今回の任期の4年間には、何か大きな行事はありますか。

●市長 一番大きなものは、平成26年10月の市制10周年記念です。10年たったときは、記念の行事などをして、次の飛躍に向けての踏み台にしたいと思っています。

■安田 具体的に10周年記念でやることはありますか。

●市長 例えば、彦根市のひこにゃんのように、ゆるキャラを募集して10周年記念で発表するなど、みんなで盛り上げる形にしたいと思っています。国体は市民の皆さんの盛り上げで成功しました。恵那市民は、みんなで盛り上げようという気持ちが強いと思っています。

■安田 恵那南部のまちのことなど、まだ知らないことが多いと思います。他のまちのことを知ったり、交流できたりする場があるといいと思います。

●市長 10年間では、なかなか互いにまちを知り合うのは難しいかも知れません。旧恵那市も60年近くたつてやっと一つになった感じがします。

■安田 長年、自分たちのまちを築いてきた方々は、なかなか気持ち切り替えることが難しいかも知れません。

●市長 そうですね。若い人はそれ



▲10周年行事でも市民の盛り上げを期待 (写真は国体スピードスケート競技の応援)

ほどではありません。1カ所で行っている成人式や、中学生と語る会でも違和感はありません。10周年を機会に、それぞれの文化を評価し合うのも一つの方法かと思えます。

きらきら輝くまちにしたい

【質問】 最後にどんな恵那市にしたいか、目標を教えてください。

●市長 「明るく元気なまち」にしたいと思っています。きらきら輝いているようなまちです。いろんな観光資源や、国体で結集したように、温かい心を生かしたまちになればと思います。

■安田 いろんな話をありがとうございました。

※スマートインターチェンジ=高速道路のサービスエリアなどに設置されるETC専用のインターチェンジ